

第 60 回ゴルニャ・ラドゴナ国際農業・食品フェア「AGRA」について

●中東欧最大級の国際農業・食品フェアが開催

「AGRA」は、中東欧最大級の国際農業・食品フェアであり、スロベニアのゴルニャ・ラドゴナで毎年開催され、今年で 60 回目を迎える。

今年は、2022 年 8 月 20 日（土）～25 日（木）に開催され、31 カ国・地域から 1,750 社が出展し、約 10 万人が来場した。展示品は、農産品、農業機械、家畜を含む動物、ガーデニング、森林等となっている。開会式には、パホル・スロベニア大統領やシンコ農林業・食料大臣が出席する、国を挙げた一大イベントとなっている。

また、本年は、スロベニア及び周辺国での日本食材や農業機械・技術等の輸出・進出をサポートするため、日本がパートナー国（※）となり、皆川芳嗣・農林水産省顧問が開会式や日本主催レセプションに参加し、パホル大統領やシンコ農相等ほか周辺国大臣等のハイレベルを含めた PR を実施した。

※二国間関係や貿易促進等の観点から、毎年、スロベニア政府が指定。2021 年はフランス。



皆川顧問による開会式での挨拶



パホル大統領による AGRA 会場視察

●日本パビリオンが初めて出展

本年初めて、パートナー国として、日本パビリオンを出展した。同パビリオンでは、12 社の日本企業が参加し、各社の日本食材や農業機械・技術等を紹介した。同国地域は、十分には日本食の普及が進んでいないため、現地の嗜好に即した日本食の普及が課題となっている。今回の日本パビリオンへの来場者の多くが、日本食材・日本食について、美味しい、是非購入したいという意見を寄せていた。



日本パビリオンの様子

●スロベニア国内の日本産食材サポーター店として5店舗を新たに認定

日本主催のレセプションでは、シンコ農相や周辺国大臣を招き、日本食材や食文化のPRを行った。レセプション内では、日本産食材サポーター店（※）として新たに5店舗を認定し、スロベニア国内の認定が合計10店舗（小売店6店舗、飲食店4店舗）となった。昨年初めてスロベニアで日本産食材サポーター店が認定されて以来、スロベニア国内では事業者発案で日本フェアを実施する等の取組が行われている。

※民間団体等が主体となり、日本産食材を積極的に使用する海外の飲食店・小売店を「日本産食材サポーター店」として認定する制度



日本主催レセプションの様子



日本産食材サポーター店認定式